

# ES/1 NEO

MFシリーズ

## V05L22R1

### Release News Letter

# 富士通システム

## 目次

### 【お知らせ】

ES/1 NEO MFシリーズのサポートについて  
PC製品 サポート終了のお知らせ

### 【HOST】

資源使用量比較一覧	
リリースニュースレター機能一覧 プロセッサ別	… 1
リリースニュースレター機能一覧 カテゴリ分類別	… 2
MF-支援ライブラリー	… 3

### 【PC】

リリースニュースレター機能一覧 プログラム別	… 5
リリースニュースレター機能一覧 カテゴリ分類別	… 6
Performance Navigator	… 7

 株式会社 アイ・アイ・エム

本リリースニュースレターは、V05L22R1 のリリース内容をまとめたものです。過去のリリース内容につきましては、プロダクトメディア(x:¥Rnl)内のレターをご参照ください。

# 改版履歴

---

日付	版数	内容
2024/2/1	1	V05L22R1 リリース

# ES/1 NEO MFシリーズのサポートについて

各バージョンの通常サポート期間はリリースより 30 ヶ月間です。

バージョンはバージョン、レベル、リビジョンからなり、レベルを基準とします。後継リビジョンのリリースに伴い、旧リビジョンのサポートは延長されます。



## <バージョン(バージョン・レベル・リビジョン)の確認方法>

ES/1 実行ログにて確認できます。

例) V05L21R3 の場合

**V 0 5 L 2 x R x**

バージョン レベル リビジョン

```
LICENSEE ----- TRIAL USER
EXPIRATION DATE ----- 2024/4/30
VERSION/LEVEL/REVISION --- 05. 22. 01
```

## <今後のサポート予定>

今後のサポート期間について、お知らせします。

バージョン	リリース時期	サポート終了予定時期
V05L22R1	2024年2月	2026年8月31日
V05L21R3	2023年2月	2025年8月31日
V05L21R2	2022年2月	2025年8月31日
V05L21R1	2021年10月	2025年8月31日

## <通常サポート中とサポート終了後の違い>

サポート終了後のバージョンも継続してご利用いただけます。

但し、不具合に対応した修正パッチは、最新リリースまたはサポート期間中のバージョンに対してのみの提供となります。サポート終了後のバージョンをご利用中に発生した不具合の対応については、原則として最新バージョンに対応した修正パッチを提供させていただきます。

	サポート期間中	サポート終了後
当該バージョンの継続使用	可	可
製品の使用方法に関するご質問	可	可
不具合発生時の調査	可	可※
不具合修正パッチの提供	可	不可

※ナレッジベースでの調査となります。

## <バージョンアップのお願い>

通常サポート期間を終了したバージョンについては、限定的なサポートのみの提供となります。最新バージョンへのバージョンアップのご検討をお願いいたします。

# PC製品 サポート終了のお知らせ

現在、MF-eASSIST でサポートしています次のオペレーティング・システム、アプリケーションを、下記の期日でサポート終了とさせていただきます予定です。

## <サポート終了オペレーティング・システム>

Microsoft® Windows® Server 2012	サポート終了時期：2024年10月末
Microsoft® Windows® Server 2012 R2	サポート終了時期：2024年10月末

## <サポート終了アプリケーション>

Microsoft® Excel2013 / Word2013	サポート終了時期：2024年4月末
.NET Framework 4.5.2	

V05L22R1 では、MF-eASSIST の対象環境は次の通りとなります。

## <オペレーティング・システム>

Microsoft® Windows® Server 2012 (2024年10月末まで)  
Microsoft® Windows® Server 2012 R2 (2024年10月末まで)  
Microsoft® Windows® 10  
Microsoft® Windows® Server 2016  
Microsoft® Windows® Server 2019  
Microsoft® Windows® Server 2022  
Microsoft® Windows® 11

## <アプリケーション>

Microsoft® Excel2013 / Word2013 (2024年4月末まで)  
Microsoft® Excel2016 / Word2016  
Microsoft® Excel2019 / Word2019  
Microsoft® Excel2021 / Word2021  
Microsoft® 365 Apps (Office®365)

Microsoft Edge  
Google Chrome  
.NET Framework 4.6.2 以上

## ES/1 NEO MFシリーズ V05L22R1 資源使用量比較一覧

本資料は、ES/1 NEO MFシリーズ V05L22R1 と、以前のリリース (V05L21R3) との資源使用量比較一覧です。  
各項目の意味は以下の通りです。

CPU		以前のリリースと比較し、CPU時間が1割以上増加することがある場合、●としています。 この結果は、入力されるデータにより異なります。
STG	本体	以前のリリースと比較し、使用仮想記憶域が増加した量を示します。 この結果は、入力されるデータには関係ありません。
	データ	以前のリリースと比較し、上記本体の増分以上に使用仮想記憶域が増加することがある場合、●としています。 この結果は、入力されるデータにより異なります。

		V05L21R3 vs V05L22R1		
		CPU	STG	
			本体 (KB)	データ
MF-ADVISOR	CPECNVRT	—	4	—
	CPEPRT00	—	0	—
	CMOSPRT0	—	0	—
	HIBICHKO	—	0	—
	CPEREG00	—	0	—
	SMFPRT00	—	0	—
	CPEDSN00	—	0	—
	RAIDPRT0	—	0	—
	RAIDCNFO	—	0	—
	CPEDCA00	—	0	—
	AVMPRT00	—	0	—
	DVCFMAPO	—	0	—
	VOLLSTFO	—	0	—
MF-MAGIC	CPEDBAMS	—	0	—
	BOXSYS00	—	0	—
	BOXAIM00	—	0	—
MF-SCOPE	JOBANLST	—	0	—
	JOBMONTH	—	0	—
	JOBCTL10	—	0	—
	AUDITPRT	—	0	—
	AUDITMON	—	0	—
MF-PREDICT	PNAVIADT	—	0	—
	PRDIOS00	—	0	—
MF-AUDIT	CPEDSN00	—	0	—
	CPEREG00	—	0	—
	AUDITPRT	—	0	—
MF-AIM	DSNCSVOO	—	0	—
	AUDITMON	—	0	—
	PNAVIADT	—	0	—
MF-AIM	AIMPRT00	—	0	—
	AIMTRCOO	—	0	—
MFシリーズ 支援ライブラリ	CPEDASDO	—	0	—
	PAGPRT00	—	0	—
	CPEVOLGP	—	0	—
	CPETAPE9	—	0	—
	CPEVSM00	—	0	—
	DSNCSVOO	—	0	—
	TSSCSVOO	—	0	—
MF-eASSIST	JOBDSNCV	—	0	—
	PNAVICEC	—	0	●
	PNAVJOB0	—	0	—
	PNAVJOB1	—	0	—
	PNAVIVSP	—	0	—
	PNAVIVSM	—	0	—
PNAVIADT	—	0	—	

※本体の使用仮想記憶域の増加が大きい場合、該当の箇所に色を付けて表示します。

例.	MF-ADVISOR	CPEPRT00	—	124	—
		CMOSPRT0	—	4	—

注意：(1) 本資料は弊社環境 (IBM環境) での結果に基づいています。環境により異なる場合がありますので、参考資料としてください。  
(2) 実行時に仮想記憶領域不足が発生する場合、OVER16機能をご使用ください。

【OVER16機能 指定方法】実行するプロセッサのJCLに次のような指定を追加してください。  
REGIONサイズの指定は、お客様の環境に応じて変更してください。

//SHELL EXEC PGM=CPESHELL, REGION=1024M, PARM=PARM	<追加・変更
//SYSPRINT DD SYSOUT=*	
//SYSUDUMP DD SYSOUT=*	
//SYSUT1 DD UNIT=SYSDA, SPACE=(TRK, (10, 5))	
//CPEPARM DD *	<追加
OVER16=SYMBOL	<追加
OSTYPE=MSP-EX	<追加・変更

OVER16機能の詳細につきましては「ES/1 NEO MFシリーズ 使用者の手引き 共通編 (IBM / 富士通 / 日立システム)」  
'3.3.2 OVER16機能'をご参照ください。

# 【HOST】機能一覧 プロセッサ別

## 既存プロセッサ

プロダクト	プログラム プロセッサ	分類	項番	項目	非互換	数値 変更	表示 変更	スイッチ 追加	特記事項	参照 ページ	記事 番号
MF-支援ライブラリー	JOBDSNCV	拡張	1	VSAMボリュームデータセットをサポート				●	SMFLレコードタイプ60,62,64	3	522-118

### ◇表項目の説明

- 非互換 : 新旧バージョン間で、JCLやパラメータを変更しないとES/1が動作しない場合に●が付きます
- 数値変更 : 本バージョンの適用により出力される値(数値/文字列)に変更がある場合に●が付きます
- 表示変更 : 新規項目追加等により、レイアウトが変更した場合に●が付きます
- スイッチ追加 : 新規スイッチが追加された場合に●が付きます
- 特記事項 : OSのバージョン、対象データなど環境が特定できる場合に明記します

# 【HOST】機能一覧 カテゴリ別

## 既存プロセッサ

### 拡張一覧

プロダクト	プログラム プロセッサ	分類	項番	項目	非互換	数値 変更	表示 変更	スイッチ 追加	特記事項	参照 ページ	記事 番号
MF-支援ライブラリー	JOBDSNCV	拡張	1	VSAMボリュームデータセットをサポート				●	SMFLレコードタイプ60,62,64	3	522-118

### ◇表項目の説明

- 非互換 : 新旧バージョン間で、JCLやパラメータを変更しないとES/1が動作しない場合に●が付きます
- 数値変更 : 本バージョンの適用により出力される値(数値/文字列)に変更がある場合に●が付きます
- 表示変更 : 新規項目追加等により、レイアウトが変更した場合に●が付きます
- スイッチ追加 : 新規スイッチが追加された場合に●が付きます
- 特記事項 : OSのバージョン、対象データなど環境が特定できる場合に明記します

## JOBDSNCV

### 522-118. VSAM ボリュームデータセットをサポート

分類			数値変更	表示変更	スイッチ追加	特記事項
拡張	変更	不具合	-	-	●	SMF レコードタイプ 60, 62, 64

VSAM ボリュームデータセットのアクセス状況を CSV 出力できるようにしました。これによりアクセスしたジョブやユーザー名を追跡できるようにしました。また RACF ユーザに関してはその権限も分かります。加えて一部のレコードには総入出力回数も出力するようにしました。

#### 【追加スイッチ】

SW60 SW62 SW64
----------------------

- SW60 = 0 : VSAM コンポーネントレコードの更新／挿入／削除に関する情報を CSV 出力しない(省略値)
- = 1 : VSAM コンポーネントレコードの更新／挿入／削除に関する情報を CSV 出力する
  
- SW62 = 0 : VSAM コンポーネントの OPEN 情報を CSV 出力しない(省略値)
- = 1 : VSAM コンポーネントの OPEN 情報を CSV 出力する
  
- SW64 = 0 : VSAM コンポーネントの CLOSE 情報を CSV 出力しない(省略値)
- = 1 : VSAM コンポーネントの CLOSE 情報を CSV 出力する

#### 【指定例】

VSAM コンポーネントの OPEN 情報のみ CSV 出力する

SW60 = 0 SW62 = 1 SW64 = 0
----------------------------------



**【CSV 出力項目表】**

レコード 60~64 の列と、項番 27~31 の行が追加。

		30	14	15	17	18	60	62	64
1	SYSID	○							
2	JOBNAME	○	○	○	○	○	○	○	○
3	JOBNUM	○							
4	CLS	○							
5	RDERDATE	○	○	○	○	○	○	○	○
6	RDERTIME	○	○	○	○	○	○	○	○
7	INITDATE	○							
8	INITTIME	○							
9	TERMDATE	○							
10	TERMTIME	○							
11	INITWAIT	○							
12	ELAPSTM	○							
13	CC	○							
14	RACFRP	○							
15	RACFUSER	○							
21	STATUS		READ	WRITE	SCRATCH	RENAME	UPDATE /INSERT /DELETE	OPEN /INVAL ID	CLOSE /SWITCH /NOSPACE
22	VOLSER		○	○	○	○		○	○
23	DEVADR		○	○					○
24	UNITTYPE		○	○					
25	DSN1		○	○	○	○	○	○	○
26	DSN2					○			
27	VVDS						○		
28	TYPE						<種別>		
29	READRECS								○
30	WRITRECS								○
31	EXCPCNT		○	○					○

## 【PC】機能一覧 プログラム別

プログラム	分類	項番	項目	参照ページ	記事番号
Performance Navigator	拡張	1	Microsoft®365 Apps環境への対応	7	522-151
	不具合	2	Excelグラフが削除されない	8	522-152

## 【PC】機能一覧 カテゴリ別

### 拡張一覧

プログラム	分類	項番	項目	参照ページ	記事番号
Performance Navigator	拡張	1	Microsoft®365 Apps環境への対応	7	522-151

### 不具合一覧

プログラム	分類	項番	項目	参照ページ	記事番号
Performance Navigator	不具合	1	Excelグラフが削除されない	8	522-152

# Performance Navigator(拡張)

## 522-151. Microsoft®365 Apps 環境への対応

Microsoft®365 Apps に対応しました。対象となる更新チャンネルは次の通りです。

<更新チャンネル>

チャンネル	バージョン	ビルド	サービス開始日	サービス終了日
半期エンタープライズチャンネル	2208	15601.20456	2023/1/10	2024/3/12
	2302	16130.20694	2023/7/11	2024/9/10
	2308	16731.20504	2024/1/9	2025/3/11

# Performance Navigator(不具合)

## 522-152. Excel グラフが削除されない

### 【現象】

報告書テンプレートの設定で HTML 形式の報告書のみが選択されている場合、Excel グラフファイル(.xlsx)と Word 報告書ファイル(.docx)は不要です。その為 HTML 形式の報告書と Gif イメージ形式グラフの作成が終了したらファイルを削除します。しかし次の条件を満たす場合、本来削除されるべき Excel グラフが削除されずに残り続けていました。

### <発生条件>

- ・ 抽出結果が 0 件などの理由で作成されなかったグラフがある
- ・ 「グラフ作成処理失敗時も処理を続行する」オプションが有効になっている

### <発生条件時の挙動例>

- ・ テンプレート登録済み 100 グラフのうち 50 グラフ目が作成に失敗している場合、1~49 のグラフファイルは削除されるが、51~100 のグラフファイルが残る

### 【原因】

プログラムのロジックミスです。

### 【対処】

グラフファイルの削除を最後まで実施するようにしました。グラフ作成失敗時に続行する設定となっている場合は、失敗したグラフのファイルがダミーで生成されますが、こちらも削除されます。